

例会報告



第2805 回例会
令和8年2月6日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 杉山 和宏
- 会報委員長 堀 幸一郎

大垣共立銀行高山支店 4F

ロータリー財団委員会例会

<会長の言葉>

ロータリークラブのインターネットを見ていましたら、国際ロータリーの公式ブログの日本語版がありました。有る事を知りませんでした。いろいろな投稿がされていて、ちょっと良い投稿がありましたので、紹介をしたいと思います。



その方は茨城県下妻市の「下妻ロータリークラブ」のメンバーの井上誠さんで、本人曰く、地元の付き合いも有り義理で入会したので、例会も年数回程度の出席と行っていないロータリアンだったそうです。下妻市は人口約4万人人間の数よりも飼育されている豚の数の方が多い田舎町だそうです。2021年当初 会員32名、ライオンズが有り、ライオンズは45名。地域での存在感も完全に負けていました。クラブは閉塞感に包まれていたとの事です。人間より動物(猿・猪)が多いと言う事なので、人口規模は半分くらいですが、高山と同じ様な町なのかなと思います。本人曰く「いけてないわ」に、2021年、劇的な転機が訪れます。2021-22年度、日本の34地区のガバナーたちが手を取り合い、海・川・湖を清掃するというプロジェクトが立ち上がったそうです。34地区という日本の全地区になりますが私もそのプロジェクトを知らなかったの、調べてみますと正式なプロジェクトではなくガバナーさんが呼びかけた合同事業という位置づけで、4年前と言えばコロナ禍の時なので、あまり広がりは無かったのかも知れません。

「世界がひとつになる」「みんなで奉仕する」。そのコンセプトに、井上さんは今まで感じたことのない興奮を覚えられ、中心となって働きかけ、下妻クラブも地元の湖畔(砂沼)を清掃することになったそうです。井上さんが驚かれたのは、ロータリー会員ではない地元の若者たちが、この活動に共感し、共に汗を流してくれたことです。翌年小林さんは会長になられ、その時参加してくれた若い人達を中心に衛星クラブを立ち上げられました。会員数は一挙に倍増し奇跡のV字回復を遂げたのです。若者たちは、想像もしなかったスピードと発想で「ロータリーの新しい魅力」を創り出し始めました。彼らが展開してくれた活動は、多くの地域団体や参加者を巻き込み、地域へ強烈なインパクトを与え、その様子を見て「Rotaryに入りたい!」という声も上がり、現在では大変刺激的で充実した日々を送って居られるそうです。それぞれのクラブには歴史があり、活動への思いがあるので、見習うという事ではないと思いますが、様々なクラブの事を参考にすることも大切に思います。

<幹事報告>

◎RI日本事務局より

- ・2月のロータリーレートについて
1ドル 154円
(1月156円)

・財団室NEWS 2月号

平和構築と紛争予防月間

◎ガバナー事務所より

2026年台北国際大会・ガバナーナイト in 台湾のご案内

◎国際ロータリー第2630地区事務所より

国際ロータリー青少年交換 2027-28年度
夏季派遣学生募集案内について

◎下呂RCより濃飛グループ次期会長・幹事懇談会ご案内

日時 3月25日(水) 11時40分より
場所 水明館 バーデンバーデン 下呂市幸田 1268
TEL0576-25-2800

登録料 お一人様 10,000円

(当日ご持参をお願い致します)

- 議題
1. 次年度クラブ方針・委員会活動取組みについて
 2. IM、ガバナー補佐訪問について
 3. ガバナー杯チャリティゴルフ大会
濃飛グループ予選会について
 4. その他

<例会変更>

可児RC・・・日時: 2026年3月5日(木)
点鐘12時30分

理由: 例会場変更のため

場所: カフェレストラン「イマコヤ」

日時: 2026年3月12日(木)

点鐘12時30分

理由: 例会場変更のため

場所: カフェレストラン「イマコヤ」

日時: 2026年3月19日(木)

点鐘12時30分

理由: 例会場変更のため

場所: カフェレストラン「イマコヤ」

日時: 2026年3月26日(木)

理由: 休会(定款により)

<受贈誌>

株式会社クマヒラ・ホールディングス 会長熊平 雅人様より
「拔萃のつづり」

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
30名	—	30名	40名	78.94 %

例会報告

＜本日のプログラム＞ お祝い

◎会員誕生日



野尻 陽子 遠藤 隆浩 鴻野 幸泰
2. 13 2. 2 2. 13

◎配偶者誕生日 (当日ご自宅に花束をお届け)

田中 晶洋 晶 子さん 2. 24
杉山 和宏 啓 美さん 2. 19
堀 幸一郎 由 美さん 2. 8

◎結婚記念日



岡田 賛三 田邊 淳
S48. 2. 10 H 6. 2. 26
杉山 和宏 H15. 2. 23 (当日欠席)
川瀬 裕之 H10. 2. 1 (当日欠席)

◎出席表彰



大村 貴之 13年

◎在籍周年記念表彰

榎坂 純一 10年 (当日欠席)

◎3ヶ月表彰

・挾土 貞吉 ・田中 武 ・大村 貴之
・杉山 和宏 ・大屋 尚史

雑誌の紹介 会報・雑誌・広報委員長 堀 幸一郎

横組み6ページ】ある少年通信兵の沖縄戦

本記事「ある少年通信兵の沖縄戦」は、13歳で沖縄戦に動員された諸見里安弘（もろみさと・やすひろ）氏の体験を通して、戦争の現実と平和の尊さを伝える貴重な記録です。

諸見里氏は、学業の傍ら陣地構築や通信業務に従事し、激しい砲撃の中で仲間の死や自身の重傷を経験されました。壕内での惨状や捕虜としての収容生活など、戦争が人間の尊厳を奪っていく様子が語られています。戦後、母親の生存を知り帰国された諸見里氏は、約20万人が犠牲となった沖縄戦を振り返り、平和の尊さと命の重みを後世に伝える使命を強く感じるようになったといいます。

本記事は、平和構築を使命とするロータリーにとって、奉仕の原点を改めて考える貴重な機会を与えてくれる内容です。

縦組み2ページ】これからの時代に求められる不登校支援について

本記事は、精神科医・斎藤環（さいとう・たまき）氏による講演要旨で、不登校支援の在り方について現代的な視点から論じられています。不登校は「怠け」や「問題行動」ではなく、心身や社会環境の影響によって生じる状態であり、病気でもないことが示されています。無理な登校指導や再登校の強要は、かえって本人を追い詰め、長期化やひきこもりにつながる危険性があると指摘されています。大切なのは、家庭を安心できる居場所とし、本人の回復力や主体性を尊重することです。また、学校・医療・福祉・地域が連携し、役割分担しながら支援する体制の重要性も述べられています。本記事は、地域に根ざした奉仕活動を行うロータリー活動とも深く通じており、私たち一人ひとりの姿勢を見つめ直す機会となると思います。

ロータリー財団委員会 委員長 垣内 秀文

本日は財団事業3/21～24開催が近づいてきましたので、絆画作家 大村順さんにお越しいただきました、初日21日は「ミチシル絵」応募いただいた児童生徒さんに、それぞれの夢に向かっていく、子供の背中を優しく後押ししてあげられるような似顔絵を描いて頂きます、22日は与嶋真菜さん

による基調講演後に大村順さん、三井祐子さん、大下大圓さん、与嶋真菜さんで「心の世界」をテーマにトークショーが。3/23.24の二日間は、大垣共立銀行さん1階フロアーにおきまして、絆絵を展示させていただきます。等子供を身ごもり、孫の誕生を心から楽しみにしていた祖父が亡くなり、そんな祖父がご健在であれば...と思い描いた絵等、本日も例会場に数点展示してございますので、お帰りの際にご覧頂きたいと思います、それではそんな多彩な大村順さんの略歴をご紹介します

1985年 愛知県生まれ

2003年 似顔絵師と有限会社プレジャー企画と契約

ショッピングセンターや結婚式場、旅館などで年間1万人の似顔絵を描きつつ似顔絵から派生して、ポスターや看板などのイラストや壁画を手がけるようになる

2011年 世界似顔絵大会 ISCA/大阪大会にてカラー部門3位と作品賞を受賞



例会報告

2012年 世界似顔絵大会 ISCA/テキサス大会にてカラー部門
3位を受賞
2012年 親友と死別
2012年 似顔絵部署のリーダーに就任
2016年 有限会社プレジャー企画と契約解除
2017年 株式会社ゴーアヘッドワークスに入社
2017年 アートディレクターの傍で絆画活動を開始
2019年 株式会社ゴーアヘッドワークスを退職
2019年 絆画作家として独立
2019年 人間力大賞で中日新聞社賞を受賞
2019年 名古屋大須の万松寺で絆画の初個展
2020年 中日新聞 取材、NHK おはよう東海 取材、ハートネットTV
取材、CBC テレビチャント！取材
2020年 テレビ愛知取材、CBC テレビ密着取材開始、NHK まるっと
取材、朝日新聞取材、中京テレビキャッチ取材、
2021年 共同通信取材、テレビ愛知取材
2022年 KATCH ケーブルテレビ、産経スポーツ
2023年 中部テレビ大賞を受賞
2024年 テレビ静岡ただいまテレビ取材
それでは、大村順さん卓話よろしくお願いします

絆画作家 大村 順 様

講演：
いまを大切に生きて
いく ～絆画が伝える
命のメッセージ～

【はじめに：絆画（きずなえ）がつなぐ想い】
皆さん、こんにちへ。ただいまご紹介いただきました絆画作家の大村順と申します。

「絆画」とは、病気や事故、あるいは自死などで大切な人を亡くされたご遺族のもとを伺い、「今もし生きていたら、なっていたかもしれない姿」や「一緒に叶えたかった心残り」を1枚の絵に描く活動です。成人式で振袖を着る姿、あるいは抱っこすることの叶わなかったお孫さんを抱く祖父母の姿。故人と遺族の絆を再び結び直すその絵を、私は「絆画」と名付けました。

私は決して、最初から「人間ができていない」人間ではありませんでした。過去にはお金や見栄に溺れて全てを失ったこともあります。幼少期は心臓病を患い、保育園を休みがちだったせいで周囲に馴染めず、小学校時代には凄惨ないじめも経験しました。人とコミュニケーションをとるのが苦手だった私にとって、チラシの裏に描く絵だけが唯一の居場所であり、自己表現の手段でした。18歳から似顔絵の世界に入り、今日まで描き続けてこれたのは、私には「絵」しかなかったからです。

【絆画誕生の背景：親友との別れと後悔】

絆画を始めるきっかけとなったのは、27歳の時に親友・池田和人を急な病で亡くしたことでした。共に遊び、共に成長した仲でしたが、私が仕事を優先し、疎遠になっていた矢先の訃報でした。彼の実家を訪ねた際、仏壇の横に飾られていたのは、私がプロとして駆け出しの頃に彼が客として描きに来てくれた「似顔絵」でした。お母さんから、彼がいつも私と遊びたがっていたこと、私の忙しさを気にかけていたことを聞き、私は激しい後悔の念に駆られました。

それから5年後。「家族写真を撮っておけばよかった」というお母さんの言葉を耳にしたとき、私は**「亡くなった27歳の姿ではなく、5年経って33歳になった少し大人の彼の姿」**を家族写真として描きました。これが最初の絆画です。この1枚がきっかけでメディアに取り上げられ、今では全国から500組を超えるご遺族と向き合うこととなりました。

【自死遺族から託された「3つの真実」】

ご依頼の半数以上は、自死で愛する人を失ったご遺族からです。特に10代から20代のお子さんを亡くされた親御さんの想いは、言葉に尽くせるものではありません。私は彼らの声を預かり、次の3つのことを「いのちの授業」として子どもたちに伝えています。

1. 隣にいる人の「背後にある愛」を想像する
ある少女は、いじめとネットの誹謗中傷に耐え、7年間の闘病の末に自死を選びました。彼女を支え続けた母親は、娘をこの世に産んだことさへ後悔するほど打ちのめされました。人が一人追い込まれるとき、傷つくのは本人だけではありません。その人を大切に思う数えきれない人々が、同じ地獄を味わいます。どんなに自分と合わない相手であっても、その人の後ろには、その幸せを願う家族や友人が必ずいることを忘れないでください。

2. 生きているだけで保たれている「価値」

「自分は無価値だ」と思い込んで命を絶った青年がいました。しかし彼が亡くなった後、四国から東京まで謝罪に訪れた親友や、看病で心を病んでしまった両親の姿がありました。人が一人死んでも世界は変わらないかもしれません。しかし、**その周りにいる人の人生は180度変わります。あなたが生きているだけで満たされる心があり、保たれている日常がある。命には、他人の人生を支えるほどの巨大な価値が最初から備わっているのです。

3. 「弱く生きる」ことを自分に許す

自殺する人は心が弱いわけではありません。むしろ「強すぎた」からこそ、人に迷惑をかけることを恐れ、逃げることをせず、自分を追い込みすぎてしまった**のです。「逃げずに強く生きろ」と教えられがちな社会ですが、心が擦り切れるまで強くいようとしなくて下さい。人は弱い生き物だからこそ、支え合って生きています。自分の弱さを認め、人を頼れること。それこそが、本当の強さだと私は信じています。

【おわりに：失っても無くならないもの】

自死は、心が正常な判断を失う「病気」の結果です。がんと同じように早めの対処と、周囲の手助けが必要です。心の病を抱えたとき、独りで抱え込まずに逃げ場所や相談先を見つけてほしいと願っています。私はかつて、お金で買える手頃な幸せで自分を満たそうとしていました。しかし、娘たちを育てる中で、亡くなった祖母が結婚式にくれた手紙を思い出しました。「ふたり仲良く幸せにね」。その時、気づいたのです。誰かに大切に想われ、その幸せをただ願われていること。それ自体が、すでに何物にも代えがたい「幸せ」であることに。地位も名誉もお金も、失えば私を支えてはくれません。しかし、大切な人が注いでくれた愛情は、たとえその人が亡くなくても、私が全てを失っても、消えることはありません。その存在に気づくことができれば、人は何度でも絶望から這い上がることができます。日本の若者の自殺者数「532」、そして高山市の自殺者数「24」。この数字を1でも減らしたい。本日は、高山西ロータリークラブの皆様にお力添えをいただき、この場に立つことができました。皆様のように「高山を、社会を良くしたい」と尽力されている大人たちが、若者たちに「あなたのことが大切なんだ」と寄り添う。その連鎖こそが、命を救う光になると信じています。

この「こども夢応援プロジェクト」を全力で務め上げることを誓い、私の挨拶とさせていただきます。最後までご静聴いただき、本当にありがとうございました。

例会報告

＜ニコニコボックス＞

●門前 庄次郎さん・田中 晶洋さん

本日は絆画家の大村 順さんにお越しいただいています。
御来訪を心より歓迎いたします。
大村さんには3月の財団補助金事業でお世話になります。
本日の卓話を楽しみにしております。
どうぞよろしくお願いいたします。

●岡田 賛三さん

過日、岐阜新聞大賞をいただきました。
私なんぞより立派な方が沢山おられるのに良いのかな？

●垣内 秀文さん

大村 順様のご来訪を熱烈歓迎いたします。
3月21日からの財団事業 是非とも大成功させましょう。
本日の卓話も楽しみにしております。

●塚本 直人さん

ロータリー財団担当例会です。
大村先生よろしくお願いいたします。
いよいよ立春が過ぎ春がやってきます。
第21回保険タイムセミナーを開催します。
今回のテーマは ;50代から本気で始める介護の備え
資産形成で安心できる未来を;
皆さん十分に資産がある方ばかりですが、ご参考までにお伝えします。ありがとうございます。

●伊藤 松寿さん・田近 毅さん・内田 幸洋さん 古橋 直彦さん・井辺 一章さん・米澤 久二さん 田中 武さん・遠藤 隆浩さん・鴻野 幸泰さん 下屋 勝比古さん・大村 貴之さん・野尻 陽子さん 堀 幸一郎さん・大屋 尚史さん・佐藤 貴史さん 熊谷 高志さん・村口 拓也さん

本日は2月の第一例会です。
2月4日は、立春でした。
もう春はすぐそこまで来ています。まだまだ寒い日が続きますが、もう少しの我慢です。
今週末は、衆議員選挙の投票日です。
皆さん投票に行きましょう。
そして来週は、冬のオリンピックがイタリアで開催されます。
日本選手の活躍を期待しましょう！

